

平成28年度高齢者福祉関係の新規事業等について

新	新規事業 ※予算額は左側が平成28年度、右側()が平成27年度当初予算額		
拡	拡充事業		
新	旧警戒区域内等安心通報システム事業	16,669	(-) 千円
旧警戒区域内等の希望世帯に安心通報装置を貸与し、犯罪や災害急病等の緊急時に迅速かつ正確な救援ができる体制を整備する。			
拡	小高病院の運営(企業会計)	110,979	(102,450) 千円
小高区内で安心して医療が受けられる環境の拡充を図るため、診療体制について平成28年4月から週5日体制を確立する。			
	筋力向上トレーニング事業(特別会計)	9,330	(9,605) 千円
高齢者の加齢に伴う運動機能の低下防止を図るため、高齢者向けのトレーニング機器を使用した介護予防に資する運動教室を実施する。			
	地域介護予防支援事業(特別会計)	1,478	(1,246) 千円
高齢者が地域でお互いに交流を持ち、要介護状態や認知症にならないように、介護予防に関する活動が地域で自主的にできるよう支援する。			
新	公立双葉准看護学院用地整備事業	16,396	(-) 千円
休校中の公立双葉准看護学院の一時再開のため、市有地を提供し、看護学校用地として整備する。			
新	地域医療介護総合確保基金事業補助金	37,589	(-) 千円
小規模多機能型居宅介護事業所の整備を行う事業者を支援するため、建設及び施設開設に係る経費に対して補助金を交付する。			
	緊急通報システム事業	15,920	(10,115) 千円
人命の安全確保及び生活不安を解消するため、概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与する。			
新	徘徊高齢者等早期身元特定事業	324	(-) 千円
高齢者とその擁護者の安全安心確保のため、徘徊の恐れがある高齢者情報を予め登録したQRコードシールを擁護者に交付し、万一徘徊が発生し警察等に保護された場合でも早期に身元を特定し、擁護者のもとへ帰す仕組みを構築する。			
新	高齢者生活支援ハンドブック作成事業	2,742	(-) 千円
高齢者が日常生活を送るうえでの生活支援サービス、その他情報をわかりやすくまとめた冊子を作成し、65歳以上の高齢者がいる全世帯に配布する。			
	高齢者等生活支援巡回バス運行事業	25,327	(25,224) 千円
仮設住宅等に入居している高齢者等の通院手段の確保及び買い物等の生活支援を図るため、仮設住宅地域と市内病院や公共施設等を巡回するバスを運行する。			
	介護員養成事業	13,585	(13,132) 千円
介護スタッフを養成するため、養成講座を開催する。(募集定員合計80人)			
新	地域医療提供体制整備事業補助金	50,000	(-) 千円
市内に新たに診療所を開設する開業医を誘致するため、その開設に必要な費用のうち医療行為に直接必要となる施設整備費等に対して補助金を交付する。			
	看護師等修学資金貸与事業	46,369	(29,015) 千円
市内医療体制の回復と維持を図るため、看護師等を養成する学校等に在学する者に対して修学資金の貸与を行う。			